



MacBook Pro 13" Unibody Early 2011のヒートシンクの交換

OEM放熱グリスの塊がMacBook...

作成者: Andrew Bookholt



はじめに

OEM放熱グリスの塊がMacBook Proが熱くなっている間、動作を遅くしていますか？この手順を参照してヒートシンクを取り出して、新しい放熱グリスを付けてください。



ツール:

- [Arctic Silver ArctiClean](#) (1)
- [Arctic Silver 放熱グリス](#) (1)
- [#1 プラスネジ用ドライバー](#) (1)
- [プラススクリュードライバー\(#00\)](#) (1)
- [スパッジャー](#) (1)
- [T6トルクススクリュードライバー](#) (1)



部品:

- [MacBook Pro 13" Unibody \(Early 2011\) Heat Sink](#) (1)

手順 1 — 下部ケース



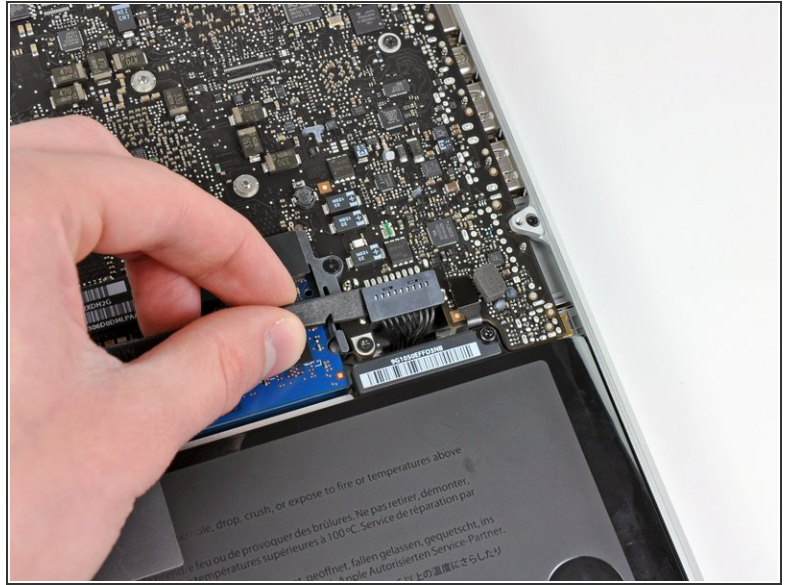
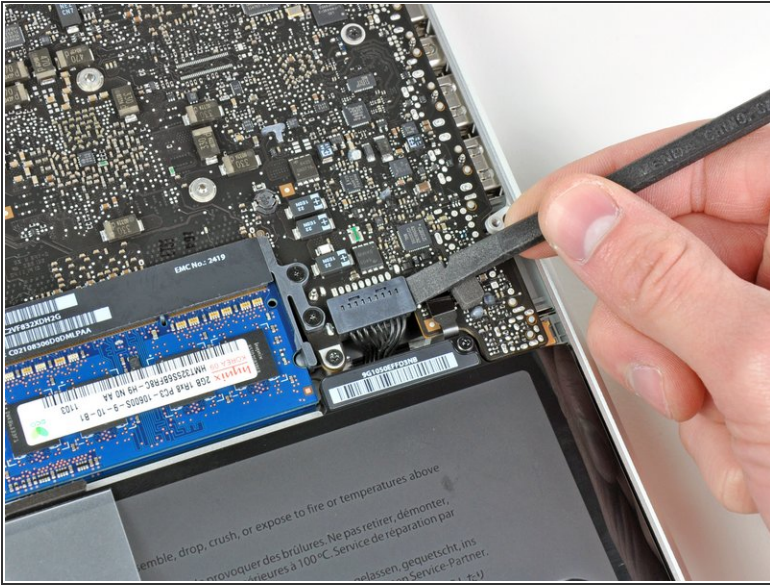
- 次のネジを10本外します。
 - 14.4 mm #00 プラスネジ—3本
 - 3.5 mm #00 プラスネジ—3本
 - 3.5 mm #00 肩付き プラスネジ—4本
- 小さなネジを交換する際は、ケースのわずかに湾曲した部分に対し、垂直にネジを揃えてください。

手順 2



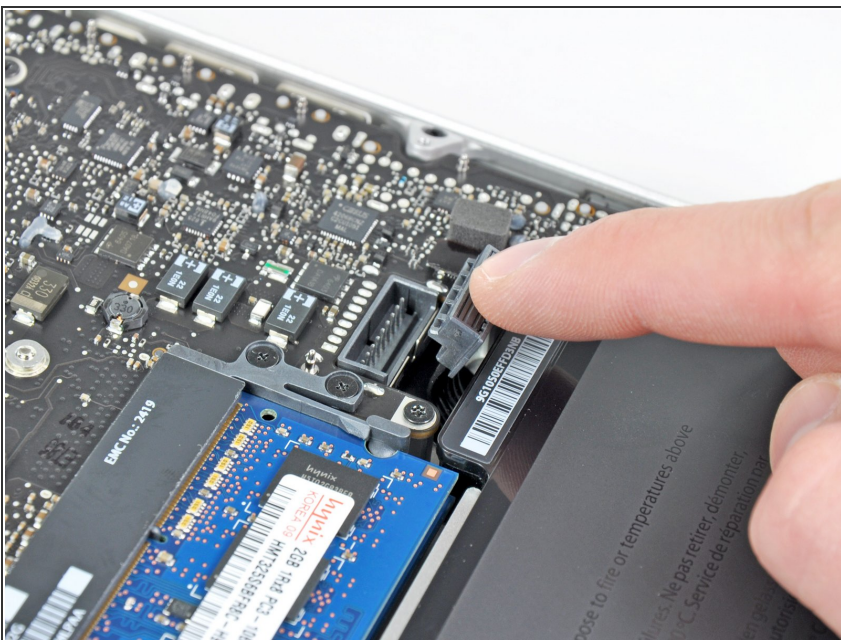
- 排気口（液晶ヒンジ部）付近より、底ケースを指で開けます。
- 底ケースを取り外します。

手順 3 — バッテリーの接続



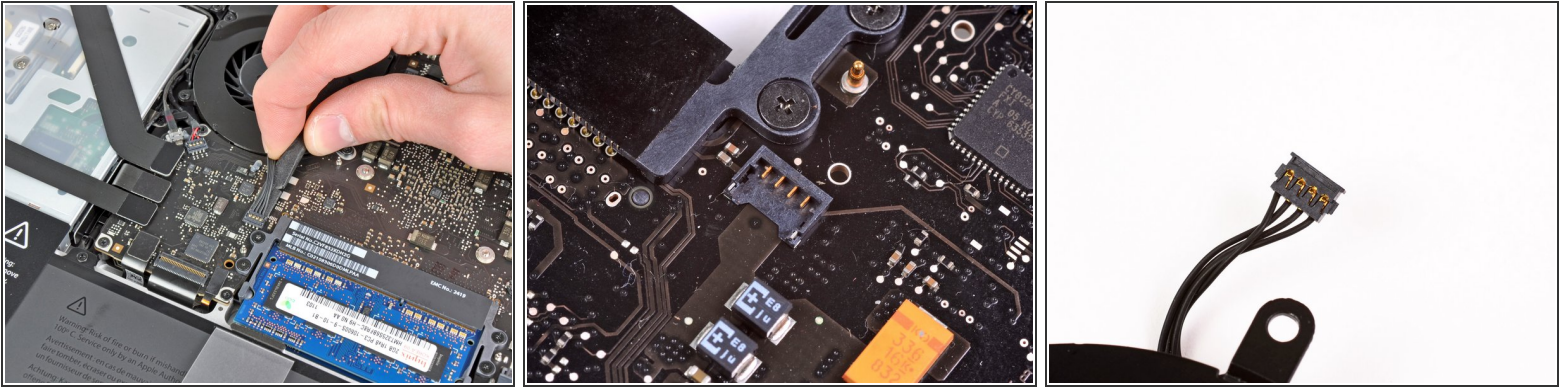
- スパジャの先端を使って、バッテリーコネクタをロジックボードのソケットから上向きに引き上げます。
- ① ソケットからバッテリーコネクタを外す際に、両側の短いサイドから上向きに引き上げると作業がしやすいです。コネクタの角に気をつけてください。簡単に壊れてしまいます。

手順 4



- バッテリーケーブルをロジックボード上のソケットから外して、わずかに折り曲げておきます。そうすると、作業中にアクシデントで接続することがありません。

手順 5 — ファン



- スパジヤーの先端を使って、ロジックボード上のソケットからファンコネクターを持ち上げます。

- ⓘ コネクターの接続を緩めるために、ファンケーブルファイヤーの下からスパジヤーをひねりながら作業を進めてください。

⚠ ファンソケットとファンコネクターは2、3番目の画像で確認できます。プラスチック製のファンソケットをロジックボードから外す際に壊さないようご注意ください。スパジヤーを使って、ファンコネクターをソケットからまっすぐ持ち上げます。2番目の画像はロジックボードのレイアウトです。お持ちのデバイスと若干異なる部分があるかもしれませんが、ファンソケットは同一のはずです。

手順 6



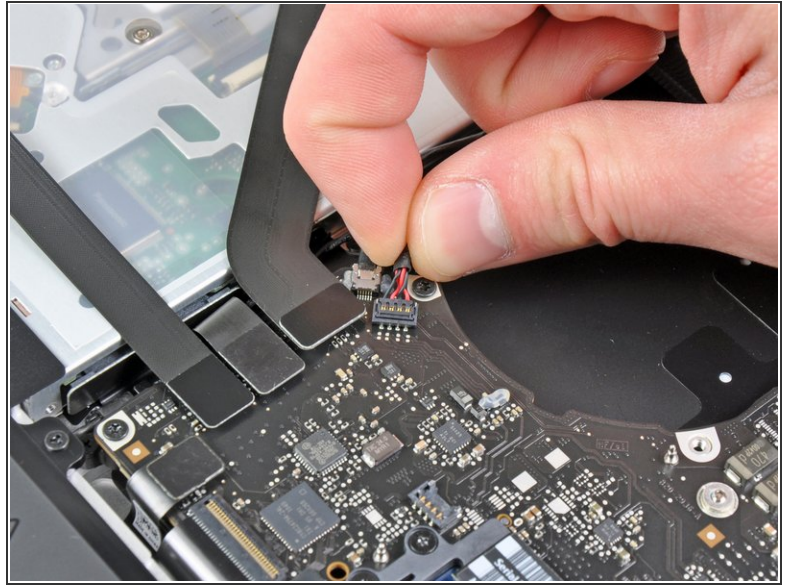
- ロジックボードに留められたファンから次の3本のネジを外します。
- 7.2 mm T6 トルクスネジ1本
- 5.3 mm T6 トルクスネジ2本

手順 7



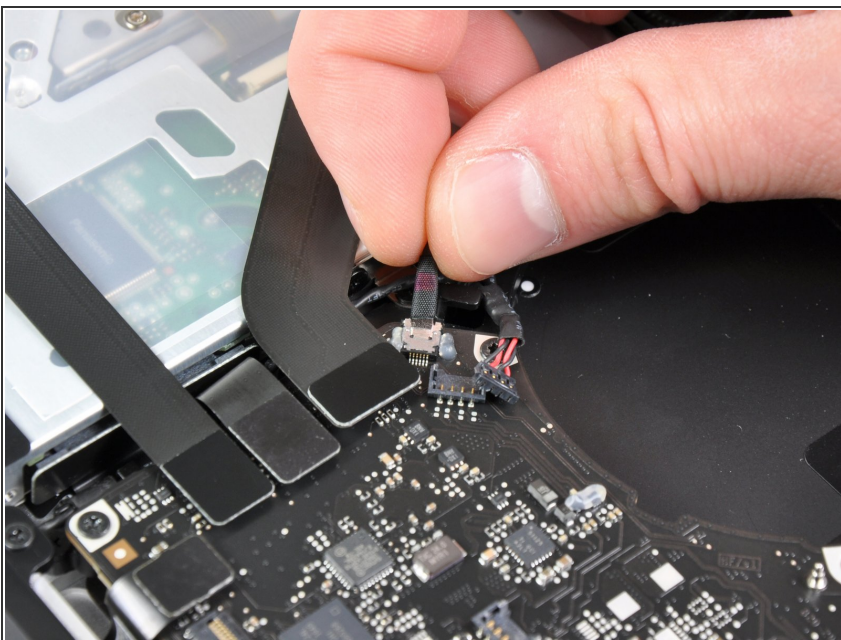
- ケーブルが絡まないように注意しながら、ロジックボードの角からファンを持ち上げます。

手順 8 — ロジックボード



- スパッツァーの先端を使って、右側スピーカー/サブウーファーケーブルを上部ケースに装着された固定フィンガーの下から持ち上げます。
- 右側のスピーカー/サブウーファーケーブルをロジックボード上のソケットからコネクタを持ち上げるため、上向きに引っ張ります。

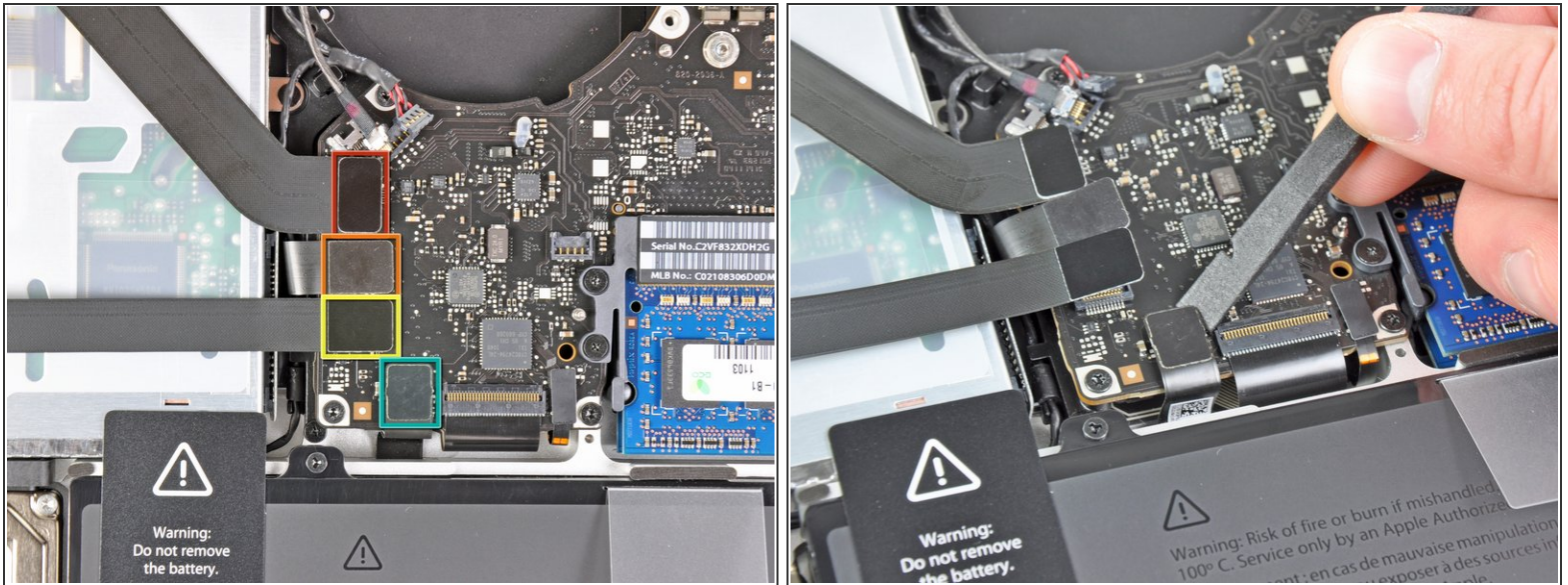
手順 9



- ロジックボードからカメラケーブルの接続を外します。

⚠ ロジックボードの表面に対して平行になるようにケーブルを引っ張ります。ケーブルを上向きに引っ張るとロジックボードやケーブル自体にダメージを与えてしまうことがあります。

手順 10



- 次の4本のケーブルの接続を外します。

- AirPort/Bluetoothケーブル
- 光学ドライブケーブル
- ハードドライブケーブル
- トラックパッドケーブル

- ① ケーブルの接続を外すには、スパッジャーの平面側先端を使って、ロジックボード上のソケットからコネクタを引き上げます。

手順 11



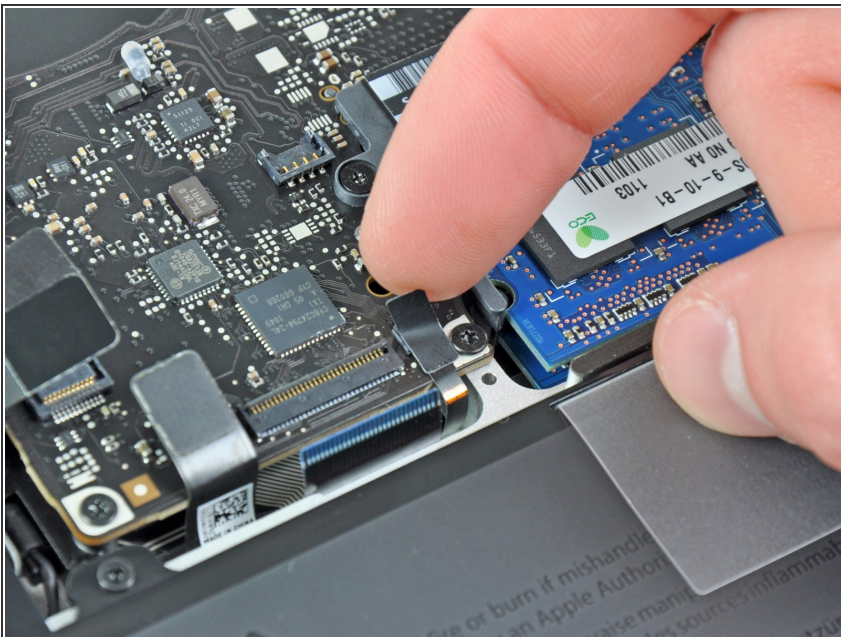
- 指の爪を使って、キーボードリボンケーブルのZIFソケット上にある固定フラップを引き上げます。

⚠ 丁番型の固定フラップのみを引き上げます。ソケット自体には接触しないでください。

- スパジャラーの先端を使って、ソケットからキーボードリボンケーブルを持ち上げます。

🔧 ケーブルを挿入しにくいかもしれません。作業が難しい場合は、一時的にテープをケーブルに貼り付けて、ソケットに挿入しやすくします。

手順 12



- もし対応する場合は、キーボードのバックライトケーブルソケットを覆っている黒色のテープを取り外します。

手順 13

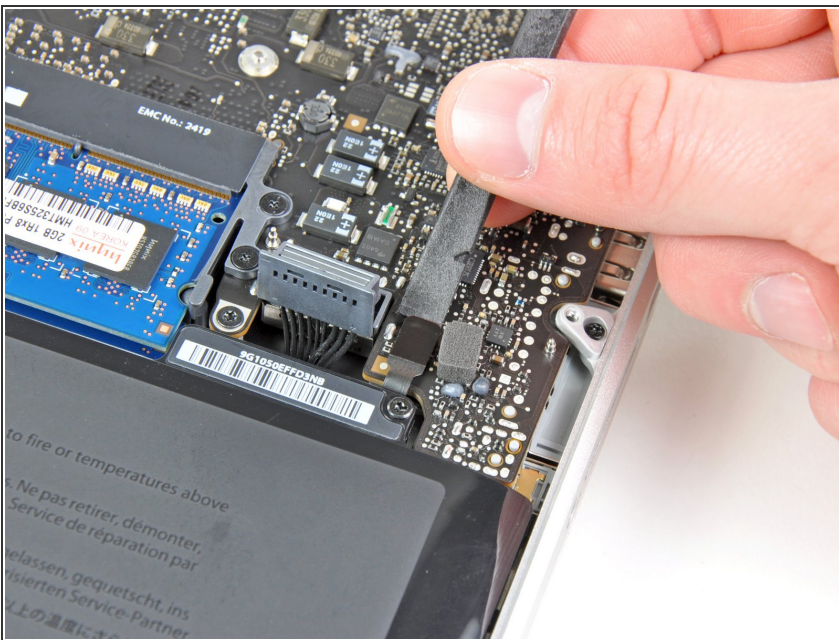


- スパジヤーの先端か指の爪を使って、キーボードバックライトリボンケーブルのZIFソケット上にある固定フラップを返します。

⚠ 丁番型の固定フラップのみを持ち上げてください。ソケット自体には接触しないでください。

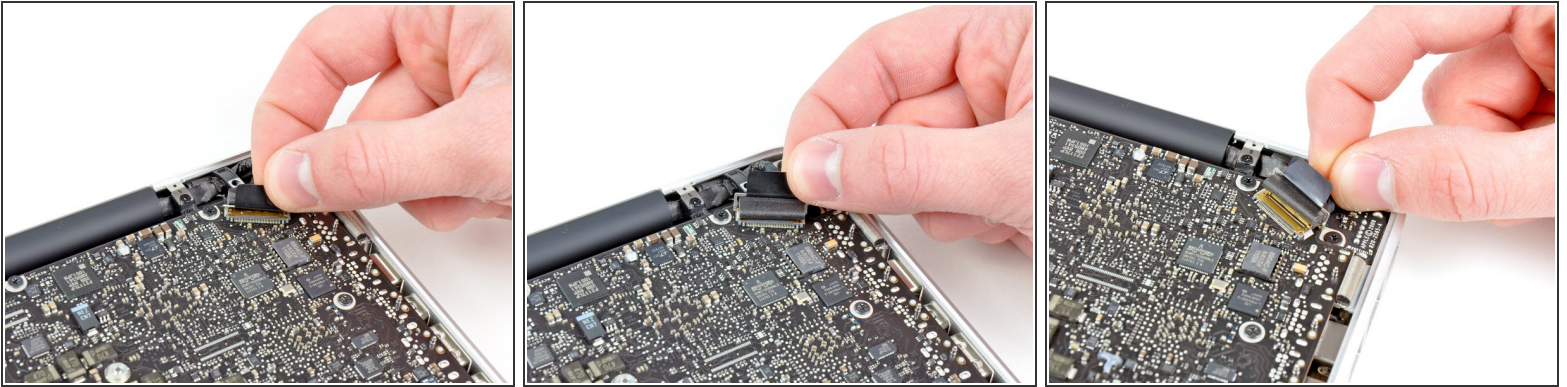
- ソケットからキーボードバックライトリボンケーブルを引き上げます。

手順 14



- スパジヤーの平面側先端を使って、スリープセンサー/バッテリー残量コネクターをロジックボード上のソケットから引き上げます。

手順 15



- ディスプレイデータケーブルロックに留められたプラスチック製のプルタブを掴み、コンピューターの DC-In側に向かって回します。
- ロジックボード上のソケットからディスプレイデータケーブルを持ち上げます。

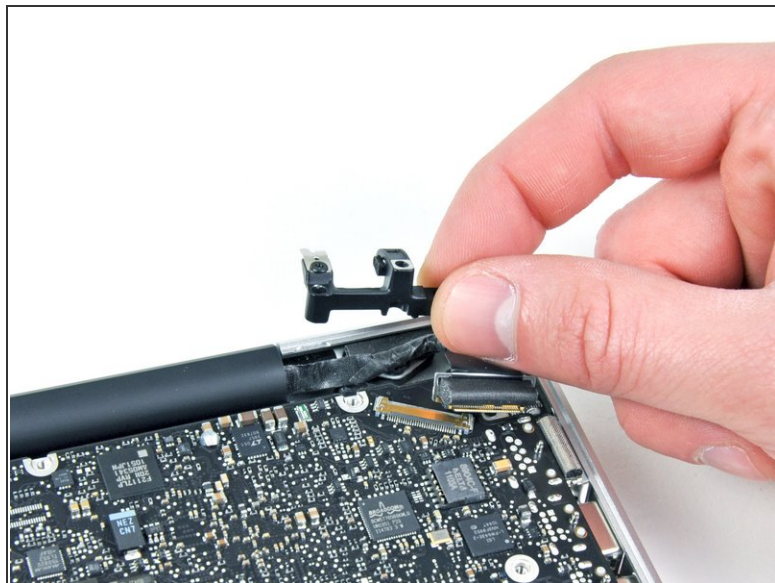
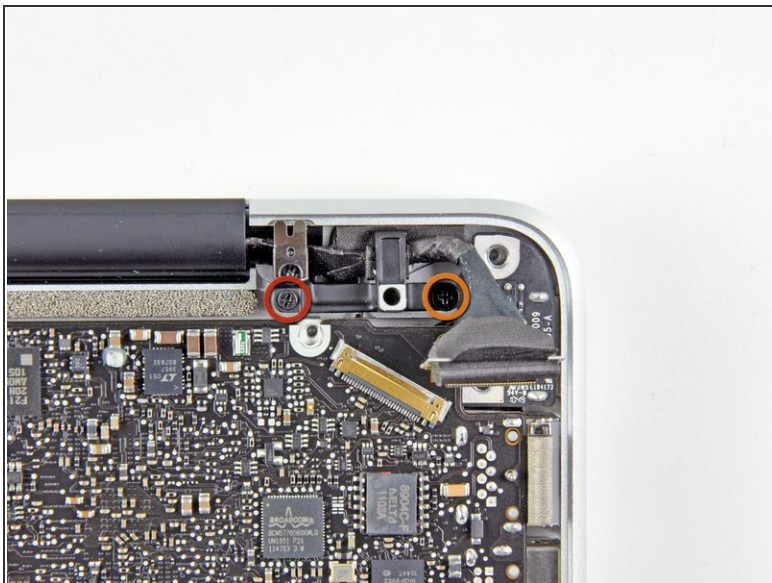
⚠ ディスプレイデータケーブルを持ち上げないでください。このソケットはとても壊れやすいです。ケーブルをロジックボードの表面に対して平行に引っ張ります。

手順 16



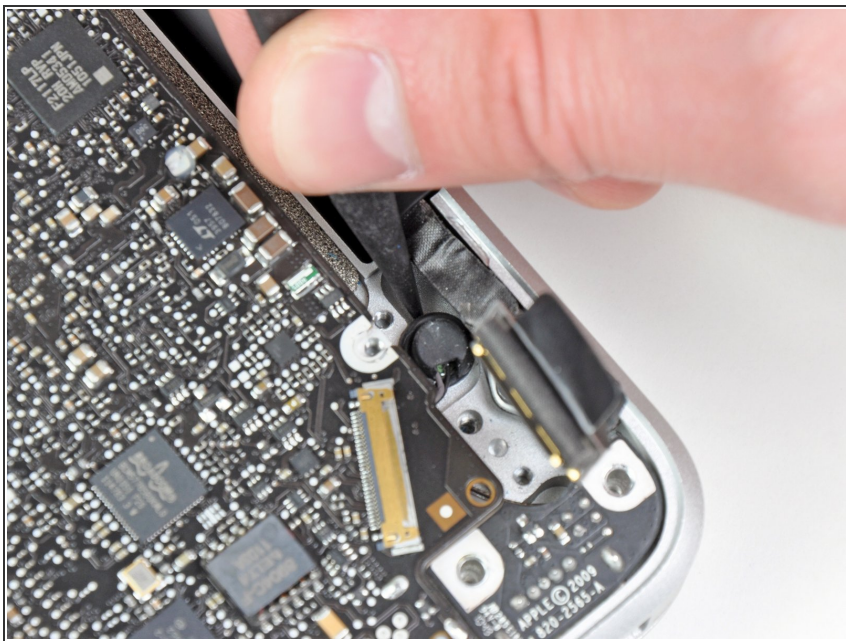
- 次の9本のネジを外します。
 - 3.6 mm T6トルクスネジ-5本
 - 4.3 mm T6トルクスネジ-2本
 - 7.2 mm T6トルクスネジ-2本
- ⓘ モデルによっては、次のようにネジが若干短い場合があります、
 - 3.0mm T6ネジ-5本
 - 3.6mm T6ネジ-2本
 - 6.7mm T6ネジ-2本

手順 17



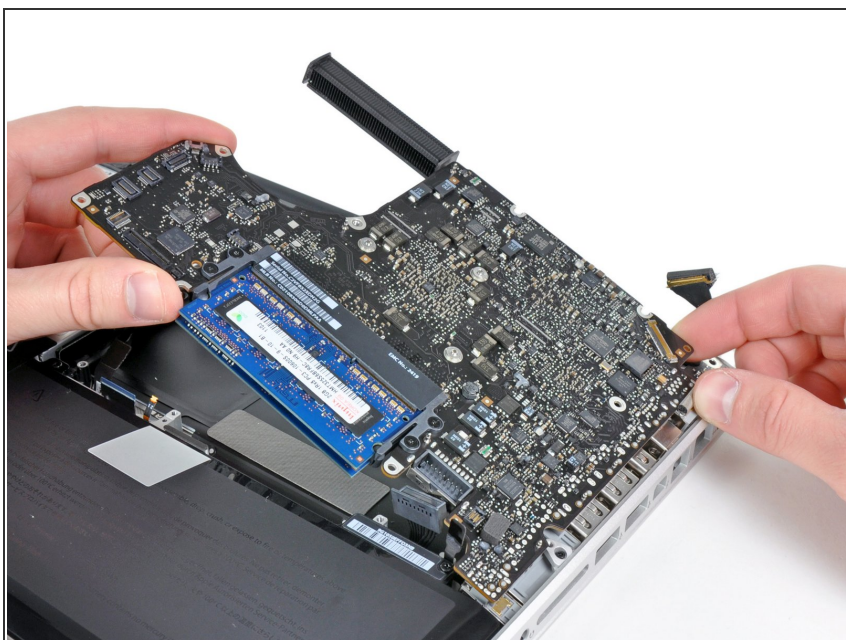
- 次のネジを2本外します。
 - 8.6 mm プラスネジ 1本
 - 5.5 mm プラスネジ 1本
- 上部ケースからディスプレイデータケーブルリテーナを取り出します。

手順 18



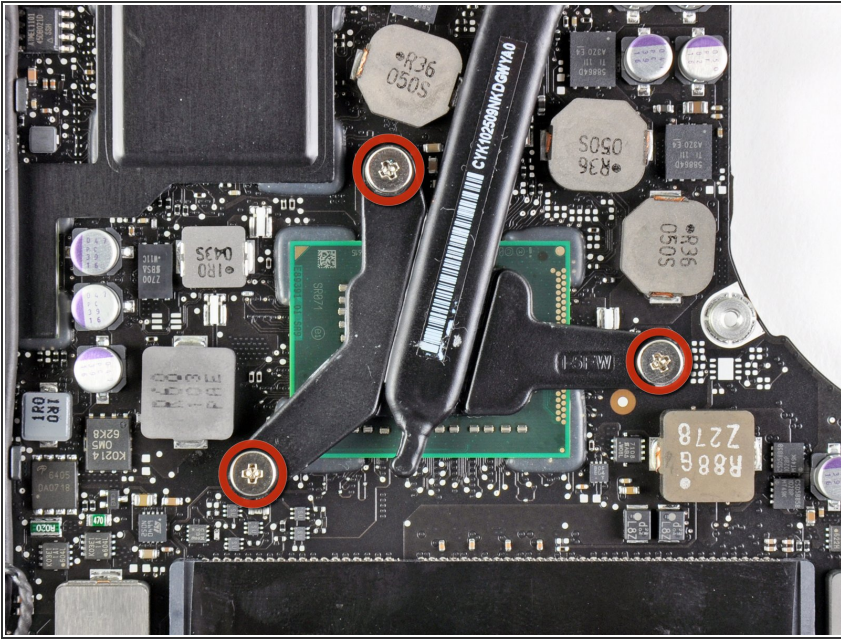
- スパッジャーの先端を使って、上部ケースに付けられた接着剤をマイクから丁寧に剥がしていきます。

手順 19



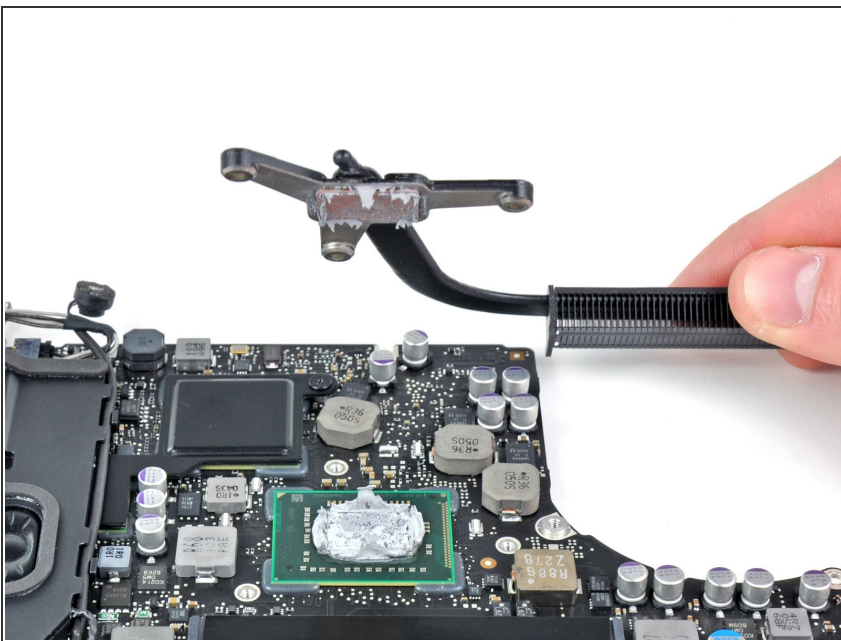
- コネクターに注意しながら、光学ドライブ付近の端からロジックボードを持ち上げます。
- ボードを曲げないで、上部ケースに挟まっているDC-In ボードへの可動性連結に注意しながら上部ケースからロジックボードを抜き出します。
- ロジックボードを取り出します。

手順 20 — ヒートシンク



- ロジックボードに留められたヒートシンクから8.4 mm #1プラスネジを3本外します。
- ① それぞれのネジの下に留められているバネを紛失しないでください。

手順 21



- プロセッサから丁寧にヒートシンクを取り出します。
 - ① ヒートシンクが詰まってしまった場合は、プラスチック製のスパッジャーでプロセッサから丁寧に取り出してください。作業中、表面上のマウントコンポーネントにダメージを与えないようにご注意ください。
- ⚠ 古い放熱グリスを綺麗に剥がし、ヒートシンクを再装着する前に新しい放熱グリスを付けてください。簡単に作業ができる[手順](#)を参照してください。

デバイスを再組み立てする際は、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。